ＴＴＣ提案山行実施記録表　（2019 年 3 月 10 日 報告者　K.S ）

1. 山行名	**本社ヶ丸・清八山**　1,630m/1593m
2. 実施日	平成 31 年 3 月 9 日(土)　日帰り　公共交通機関
3. 天候/参加人数	晴　レベル　★★☆　参加者：9 名（男 8/女 1 名）
4. ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	省略
5. 参加メンバー	省略
6. 費用 3,228 円/人	参加費 3,228 円 （内訳）本厚木～厚木往復（小田急）：248 円、厚木～笹子往復（ＪＲ）2,980 円

7. 所要時間

	歩行時間	休憩時間	行動時間
ガイドブック	7：05	―	―
計　画	7：05	1：10	8：15
実　行	6：31	1：24	7：55

実行コースタイム記録

小田急　JR　1:40(含休 0:05)　0:41　昼食　1:18　0:44　0:08

本厚木駅＝＝＝=厚木駅＝＝＝笹子駅―――鉄塔―――角研山―――本社ヶ丸―――清八山―――清八峠

6:41　6:43～52　8:58～9:10　10:50～55　11:36～12:06　13:24～40　14:24～32　14:40～50

1:00　0:09　0:56　JR　小田急

―――沢出合―――東電変電所―――笹子駅＝＝＝厚木＝＝＝本厚木駅

15:50～16:00　16:09　17:05～36　19:50　19:52

コースの概要、特記事項、反省事項等

今回の山行は山歩会の方々との交流山行であったが、参加者名簿の氏名が 3 名間違えていたので、気をつけたい。

笹子駅から 20 分ほどアスファルトの道を歩くと左側に本社ヶ丸の標識があるので、左に曲がり登山道に入る。いきなり急な登りを登って行くが庭洞山まで続き、若干緩やかになったと思ったら林道を横切り再度急坂になり角研山に到着する。SLからここが角研山だよと言われなければ通り過ぎてしまうところであった。11 時 36 分にもなったので昼食を摂ることにした。

30 分ほど大休止をして本社ヶ丸に向けて出発をした。50 分ほど歩くと「あのピークが本社ヶ丸ね」それから 10 分ぐらい歩くと「もう直ぐ本社ヶ丸ね」という声が上がったが違っていた。このような声が 4 度ぐらい聞こえてから山梨百名山＆富嶽十二景の 12 番目の本社ヶ丸の山頂に立った。途中ピークが数度あり中々着かない山頂であった。

本社ヶ丸山頂直下は岩場で注意が必要である。山頂から、35 分ほど歩くと清八峠になり、ここに戻るのでザックをデポしてもらったが、これがCLとして間違えであった。清八峠から山頂まで雪が固まっているところがあり、登りはともかく安全に下るにはアイゼンが必要であった。清八山（富嶽十二景の 12 番目）の山頂には松が生えており、松に若干隠れた富士山は中々見ごたえがあった。峠まで戻ったが、滑る雪の上を木々に捕まり何とか（余裕の人もいた）着いた。

峠まで着くとSLが軽アイゼンを着けていたので、参加者にアイゼンを着けるようにお願いした。アイゼンを持ってこなかった方が 2 人おり、「ゆっくり先に行くね」と言って先に下って行った。アイゼンが必要な山道は余り長くなく、慎重に歩けばアイゼンは必要ないとも思われたが、履いていると安心感が断然違う。先に行った 2 人と合ったところでアイゼンを脱いだが、アイゼンと靴はぬかるみでドロドロになってしまった。沢に出会ったところで、休憩をして、靴の泥を落とした。アスファルトの道を 1 時間ぐらい歩き、計画より 20 分ぐらい前に笹子駅に着くが、17 時台の電車は 36 分しかなく、早く着いても待ち時間が増すだけであった。しかし、トイレに行ったり、体操をしたりするとこのぐらい時間があっても良かったと思える。

予定の時刻に本厚木に到着し、参加者 7 名で反省会を行い大いに盛り上がった。

反省

1）北斜面は雪が固まっており、清八峠から山頂まで 7～8 分ぐらいの短い距離ではあるが、安全を確保するには空荷で行くとしてもアイゼンを持参するする必要があった。

2）計画書を作成しているときに迷ってはいたが、このコースは、電車で行くよりマイクロの方が良いと思った。①乗り換えが多いので、電車行くよりマイクロの方が早いしはぐれる心配もない。②マイクロが東電変電所まで来ることができ、約 1 時間アスファルト道歩きを短縮できる。